

教職大学院 NEWS



三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻

第13号 H30.10月発行

人々の温かさに感動!尾鷲・熊野・御浜での 実り多き東紀州実習を終えて……

教職大学院の長期実習の1つである、東紀州実習を10月上旬に実施しました。この東紀州実習は、「特色ある取組を進めている東紀州地域の学校教育活動から学ぶ。」ということを目的にしています。本年度は、学校経営力開発コース（現職教員学生）の学生10名と教育実践力開発コース（学部新卒学生）5名を受け入れていただきました。実習中は、指導教員も実習校を訪問して実習の様子を見させていただいたり、宿泊所の三重大学東紀州教育学舎を訪問したりと現地に赴きました。

実習校の皆様方の、事前の受け入れ準備や環境整備、実習期間中の実習生への支援及び配慮等により、トラブル等も無く、全員が無事に実習を終えることができました。院生は、今回の実習を通して、多くのことを学ぶことができました。例えば、複式学級の授業を初めて参観した院生は、2つの学年の授業を並行して行う難しさに驚いたり、その授業を丹念な準備・計画と指導技術により単学級での授業と遜色なく行う教師に感動したりしました。そして、自分も複式学級での授業に参加し、授業計画の立て方、教師が一方の学年を指導する際にもう一方の学年に課す課題を設定することの重要性、少人数の授業において多様な意見に触れさせる工夫など、多くのことを学びました。また、地域と一体になった学校行事を経験した院生は、地域や保護者との連携の在り方や地域で子どもを育てるという意味を再認識し、自校での今後の取組へのヒントを得たようです。実習を終えて帰ってきた院生に話を聞くと、「とても貴重な体験ができた実習でした。」「実習校の先生方に大変お世話になりました。」「たくさんのお話を学ぶことができた実習でした。」「ここに来なければ学ぶことができないことが、たくさんありました。」等の言葉が返ってきました。また、全員が同じ東紀州教育学舎に宿泊し、夜に集まって実習のリフレクションができたことも、とてもよかったと好評でした。また、本年度新たに、東紀州地域の状況及び教育活動等について知ることを目的とした「現地学習会」を、尾鷲市・熊野市教育委員会のご協力により実施できたことも、東紀州実習での学びをより深いものとする事ができた一因だと考えています。このように、院生にとって、充実した実習と



することができましたのも、尾鷲市・熊野市・御浜町教育委員会、各実習校の皆様方のお陰と感謝する次第です。院生は、11月29日の成果報告会で、東紀州実習の成果について報告する予定です。今回の実習で学んだことを、今後の学修に活かしていくことと思います。

東紀州実習の感想紹介

8月の事前学習会で、尾鷲市、熊野市の教育委員会を訪問させていただいたことから始まり、充実した現場実習を終えることができました。学校全体を俯瞰的に拝見することで、教職員の同僚性や教育のありかたを学び、通常の勤務ではできないことをたくさん経験させていただきました。実習でお世話になった小学校は、子どもたちを含め、教職員全体のつながりが深く、まるで温かい家族のような雰囲気であると感じました。「予告なし避難訓練」を始めとした防災教育、複式学級の教育課程による学習指導体験、及び授業観察から多くのことを学ばせていただきました。最後になりましたが、大変お世話になった尾鷲市教育委員会、実習校の皆様にお礼を申し上げます。【学校経営力開発コース・西村佳子】

私は、熊野市の小学校にて長期実習をさせていただきました。清流のほとりにあり、大変自然豊かな情緒あふれる地域の拠点となる学校でした。小中合同運動会からの実習スタートでしたが、子どもは地域の宝であるという強い思いが地域の方々や先生方から強く伝わってきました。子どもたちや先生方から大変よくしていただき、私の人生にとって忘れがたいものとなりました。日々の実習では、主に複式学級の授業の大変さや支援の必要な子どもへの対応方法を学ばせていただきました。また、人口減少社会であるからこそ、学校は地域の拠点として欠かせない存在であり、東紀州の取組がこれからの日本の教育のモデルとなると感じました。【学校経営力開発コース・島田敏行】

期待を上回る充実した実習でした。素直で希望に溢れる子どもたちに囲まれ、心が浄化されました。打ち合わせの時、校長先生から「とにかく子どもと喋って共に活動して下さい」と言われましたが、実習をしてみて言葉の真意がわかりました。子どもの行動には必ず理由があり、話さなければわからない。話すだけや行動を見ただけでは真相はわからない。言葉と行動の両方が大切であることを体感しました。教員たちの言葉かけからの学びが大きかったです。普段からの信頼関係がしっかり築かれており、褒めても叱っても、児童に「想い」が届いている。日常に戻った今、実習校ロスです。再会できる日を楽しみにしています。2週間、ありがとうございました！【学校経営力開発コース・三浦早矢加】

東紀州実習において、私は子どもを視点に置いた授業の見方を実践し、子どもの思考や気持ち、学び意欲の変容などを考察し、成果を得ることができました。また、複式学級での授業者の「匠の技」も拝見させていただくこともできました。また、台風の影響で延期となっていた運動会にも参加させていただき、この運動会が地域の一大イベントとして位置づけられていることを知りました。そこで、地域の皆さんが学校と共に協力して行事を運営している素敵な場面に立ち会うことができました。今回の実習にあたり、実習校の職員の方々、また22名の全校児童の皆さんにも温かく受け入れていただき、毎日の実習が充実したものとなりました。ありがとうございました。【学校経営力開発コース・林敬一郎】

本実習では、外国語活動と異学年同士の関わりに着目しました。2週目に授業時間を1時間いただき、6年生でSmall talkの実践をさせていただきました。反省点の多い授業でしたが、児童が意欲的に取り組み、大きな声で反応してくれたことが嬉しかったです。今後の研究につながる経験となりました。児童は清掃の時間など、縦割り班で活動をしていました。上級生は率先して掃除をし、下級生もその姿を見て一生懸命取り組んでいました。運動会では、他学年が競技をしている姿を見て、「○○くん、がんばれー」と、その子の名前を呼んで応援していました。また、児童同士が廊下で会ったとき、学年に関係なく仲良くしている姿がありました。これらは、小規模校のよさの一つだと思いました。【教育実践力開発コース・吉川和希】

編集・発行 三重大学大学院教育学研究科 教職実践高度化専攻（教職大学院）広報担当

☎ 059-231-9319（学務担当）

〒 514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577

URL <http://mkd.edu.mie-u.ac.jp>（教職大学院専用 HP）

✉ info-mkd@edu.mie-u.ac.jp